



神根小だより

1月号

令和7年1月8日

川口市立神根小学校

在籍児童274名16学級



「継続は力なり」の大切さ

校長 篠崎 弘敬

保護者の皆様、地域の皆様新年あけましておめでとうございます。皆様方には、夢と希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中は、本校の教育活動に地域や保護者の皆様のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

また、保護者の皆様には「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。結果につきましては、2月号の「神根小だより」でご報告させていただきます。今年度もよろしくお願ひいたします。

さて、昨年12月26日は戸田市文化会館にて「第35回埼玉県小学校管楽器演奏発表会」に本校の金管ブラスバンド部が参加をしました。「君の瞳に恋してる」「学園天国」の2曲を明るく、楽しく演奏し神根サウンドを館内に響かせました。

多くの参加者から賞賛の拍手をいただきました。聴いていて、1年間の疲れが全て吹き飛ばすほど素晴らしいものでした。子供たちの演奏に感動をしました。また、子供たちも他校の素晴らしい演奏を聞いたり、所作を学んだり刺激を受けたようです。「準備にかかる時間が早いし退場も早いよね！」など演奏以外の事からも学んでいたようです。子供たちの感性は本当に「鋭い」と改めて感じました。演奏だけではなく舞台裏では、リハーサルの準備の素早さや楽器を大切にしている態度を目にすることができました。演奏だけでなく人間的にも成長している姿を大変嬉しく思いました。ブラスバンドクラブは、大会までほぼ毎日の練習や長期休みにおける集中的な練習などをしてこの大会を迎えました。毎日の継続した努力で力を伸ばし緊張場面を経験し、子供たちは大きく成長してくれました。まさに「継続は力なり」という言葉の意味を行動で語ってくれているように感じました。

「継続は力なり」よく聞く言葉ですが実際に努力を続けることは難しいです。大人の私自身でもそう感じています。人生経験の中で成功したこともあれば失敗したこともあります。しかし、繰り返し努力したことは、蓄積され自分の力になります。それが良い方向に行けば実績をつくり自信につながります。その自信は、主体的に行動する原動力になります。仮にうまくいかなくても努力したことは蓄積され土台となり新たな目標につながるのではないのでしょうか。手段や方法の工夫を行い効率化が重視されている現代社会です。それと同じくらい「継続する力」は大切であると考えています。保護者の皆様も新年を迎え、ご家庭でも今年のご目標について話し合ったことと思います。是非目標に向かっていらっしゃるお子様を目しましたらご自身の体験等を語っていただき「続けることの大切さ」について話題にいただければ幸いです。

学校では、継続して努力できる「ねばりづよい子」の育成を目指し教職員一同一丸となって努力していきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。